

田名ボラセン通信 第30号

～H29. 10～H30. 1のまとめ、ニュースなど～

田名地区社会福祉協議会
 田名ボランティアセンター運営委員会
 サポーター数：74名

～みんなでつくろう、ほっとする田名のまち～

日頃より田名ボランティアセンターの活動にご支援、ご協力をいただきありがとうございます。本年もご支援をよろしくお願い申し上げます。

◎田名文化祭に参加(H29.10.28)

田名地域の活力、にぎわいを生み出す田名文化祭に参加しました。

あいにくの悪天候で1日だけの参加でしたが、ボラセンの古本屋、地区社協の「焼きそば」は大変盛況でした。皆さんご苦労様でした。

◎田名地区社協の視察・研修会に参加(H 29.11.28)

精神疾患の方も、治療で回復すれば地域で日常生活を営めるようになることが望ましいことです。そのためには、私たちも精神疾患などの方の治療の現状を知ることが大切です。

そこで、八王子市高尾にある先進的な精神病院である駒木野病院の視察・研修に参加しました。この病院は、精神疾患、アルコール依存症、認知症の方が入院していますが、デイケアで通院している方もいます。

精神病院というと、とかく暗いイメージを持っていましたが、そのようなイメージを一掃するような明るい病院で、施設管理者、特にソーシャルワーカーとして働いている方も明るく、患者に寄り添った治療等が印象的でした。(報告者：八木)

◎コーディネーター研修会「ボランティア活動」について(H 29.12.12)

相模原市社協の藤居さん(コミュニティソーシャルワーカー)から、ボランティアの特徴、求められる役割、高齢者・障がい者への具体的な活動内容の紹介、ボランティアセンターの役割など、基本的なことがらの再確認の話がありました。

加えて、ボランティア活動にあたって、ボランティアが長続きするためのポイント、プライバシーの配慮(相手方はもちろん本人も)など、私たちがしっかり意識しておくことが大切な事柄について説明がありました。

◎新年サポーター交流会を堀之内自治会館で開催(H30.1.26)

新しいメンバーも加わって、33名が出席。高野センター長の今年の抱負を交えた挨拶に始まり、日頃、顔を会わせる機会の少ない皆さんの自己紹介、佐々木さんの手品、ビンゴゲーム、また持ち歌を披露したカラオケも絶好調、和気あいあいの雰囲気の中でサポーター同士の交流が深まりました。

◎お知らせ

◇認知症サポーター養成講座の開催

日時：平成30年3月6日(土)午後1時開始

場所：ボランティアセンター事務所

講師：小澤亜希子さん(縁ジョイ・ケアマネージャー)

◇注意ーボランティア活動中の事故について、保険の適用がない場合もありますー

ボランティア活動中に事故などが発生した場合、ボランティア保険がかかっているため補償されません。(相模原市市民活動サポート補償制度)

その場合、事故日から180日以内に所属団体の規約、事故状況図など何種類かの書類を添えて市に事故報告することが必要です。

しかし、個人からの依頼でボランティア活動(個人対個人の依頼関係)をして、事故が生じた場合には、そうした書類が作成できずに、補償されない場合がありますのでご注意ください。